

がん化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **XELOX + ベバシズマブ**
 対象疾患 進行・再発の結腸・直腸がん
 診療科 外科、消化器内科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
① イメンド	1セット(3日分)			L-OHP投与60分以上前に、1日目を服
② 生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③ グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)		混注	15分で点滴
デキサート	6.6mg/2mL (2A)			
④ ベバシズマブ	7.5mg/kg		生食100mL	特記事項参照
⑤ オキサリプラチン	130mg/m ²		5%糖500mL	2時間点滴静注
ゼローダ	1回量1200mg(4錠)を、朝・夕食後30分以内に14日間服用			体表面積<1.36m ²
	1回量1500mg(5錠)を、朝・夕食後30分以内に14日間服用			1.36m ² ≤ 体表面積 < 1.66m ²
	1回量1800mg(6錠)を、朝・夕食後30分以内に14日間服用			1.66m ² ≤ 体表面積 < 1.96m ²
	1回量2100mg(7錠)を、朝・夕食後30分以内に14日間服用			1.96m ² ≤ 体表面積

2 投与方法の図式

時間 (hour)	1	2	3	4	5
① イメンド	▼				
② 生食				▶	
③ グラニセトロンなど	▶				
④ ベバシズマブ	▶				
⑤ オキサリプラチン		▶			

3 投与スケジュール

1クール3週間。ベバシズマブ、L-OHPはday1に点滴静注。
 ゼローダはday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用。その後、1週間休薬。

4 特記事項

- ・ ベバシズマブは、初回90分、問題なければ2回目60分、3回目以降は30分に短縮可能。
- ・ ゼローダは対表面積に応じて選択し、day1の夕食後から開始する。
- ・